

はかりの日常点検の方法とは？

正しく量れて
いるかな！



はかりの
日常点検



YouTube紹介動画

はかりの日常点検の方法とは？



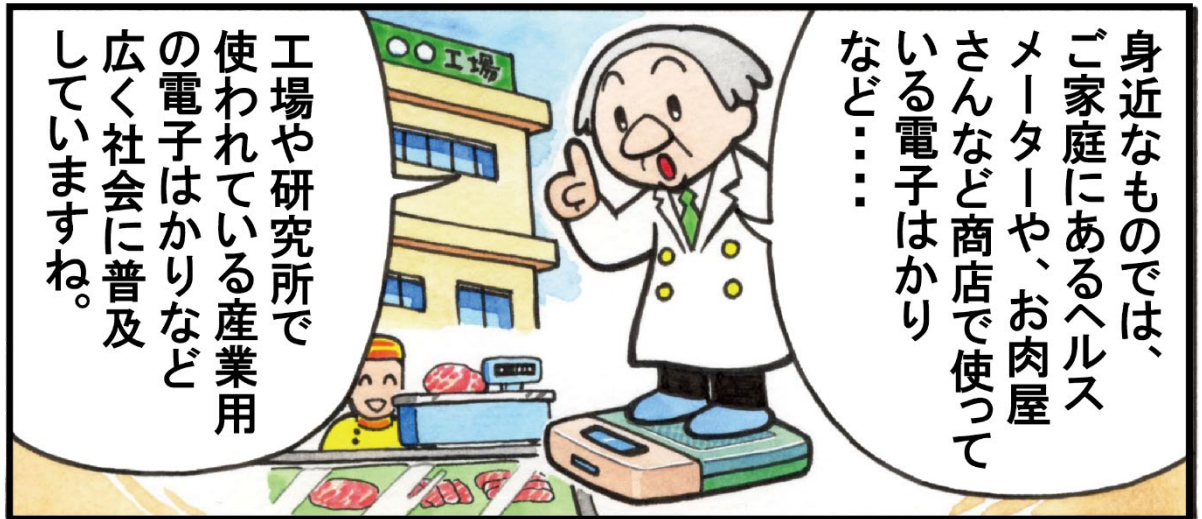
<https://youtu.be/d6QwN7C0o0g>

目次

| | |
|--------------------------------------|----|
| 目次 | 1 |
| 1 はじめに | 2 |
| 2 点検の種類 | 3 |
| 3 点検基準の設定 | 4 |
| 4 設置状況の確認 | 5 |
| 5 計量皿の汚れやその周辺の異物の有無を確認 | 6 |
| 6 ゼロ点の戻り確認 | 7 |
| 7 普段計量している測定物に近い重量の分銅を載せ、 重量表示を確認 | 8 |
| 8 点検結果で基準値を超えていた場合の処置 | 9 |
| 9 関連サイト、動画紹介 | 10 |

産業用の電子はかりが、工場や研究所で多く使われています。

これらの電子はかりが、誤差なく、正しく計量されていないと、生産品が不良となったり、間違ったデータを記録してしまいます。



まんが 電子はかりの点検方法より

電子はかりは、「長期間の使用」や「水平やガタツキなどの設置状況」、また「異物の付着による、よごれ」などにより、重量表示にズレ（誤差）が発生する事があります。

そこで、正しく計量できているか、はかりを使用する前に必ず点検する必要があります。



まんが 電子はかりの点検方法より

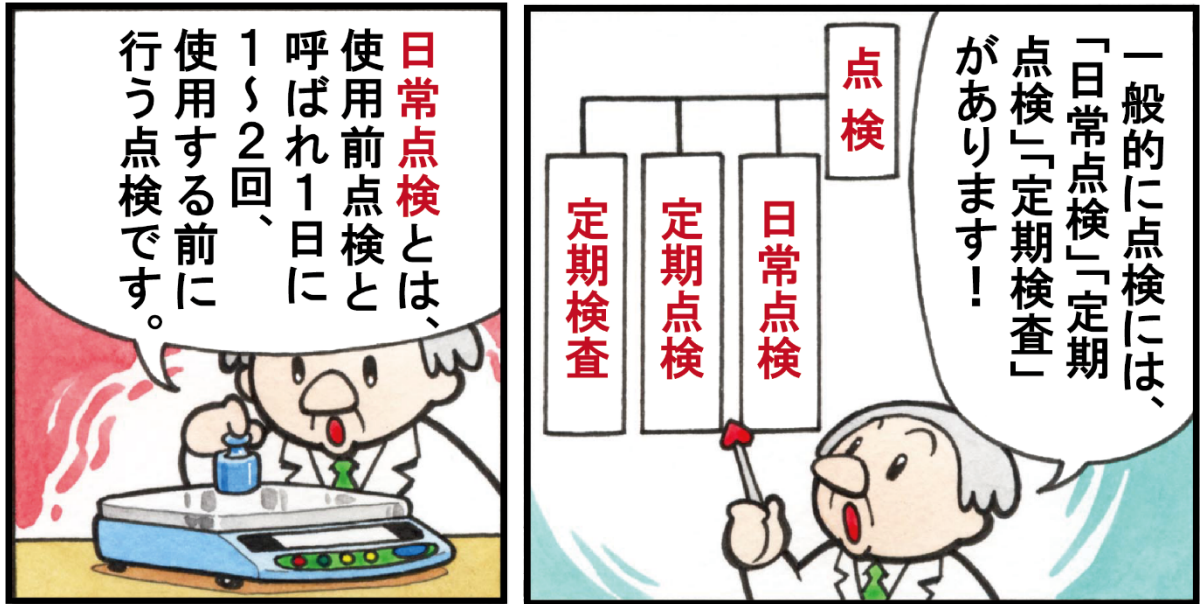
点検には、「日常点検」「定期点検」「定期検査」があります！

日常点検とは、はかりを使用する前に行う点検で、作業担当者が行います。

定期点検と定期検査は、一定の時期、または、使用期間を定めて実施し、日常点検より確認項目を増やして行います。

定期的な点検や検査は、ある程度の知識や経験が無いと実施が難しい内容なので、専任者を決めて行います。

今回は、作業担当者が、はかりを使う前に行う、日常点検の方法についてご紹介します。



まんが 電子はかりの点検方法より

日常点検では、次のような内容を実施します。

- ① 設置状況の確認
- ② 計量皿の汚れやその周辺の異物の有無を確認
- ③ ゼロ点の戻り確認
- ④ 普段計量している測定物に近い重量の分銅を載せ、重量表示を確認

このような項目を行います。



日常点検を始める前に、はかりの性能から点検基準を決めておきます。

はかりの性能は、はかりの銘板などの表示内容から確認します。

大和製衡製の電子はかり UDS-600-WPN-3 を例に性能を確認し、点検基準を設定してみます。

性能は、

- ・ひょう量(計量できる最大値) : 3000g
- ・目量(最小表示) : 0.5g

大和製衡製の電子はかり UDS-600-WPN-3 の例



例)
大和製衡製
UDS-600-WPN



点検基準としては、

- ・普段計量している重量を「200g」と「1kg」にしました。
- ・誤差の許容範囲は、品質面の要求から決めますが、一般的に目量(最小表示)の2倍とするので、 $\pm 1g$ としました。

【点検基準】

普段計量している重量

→ 200g と 1kg

誤差の許容範囲

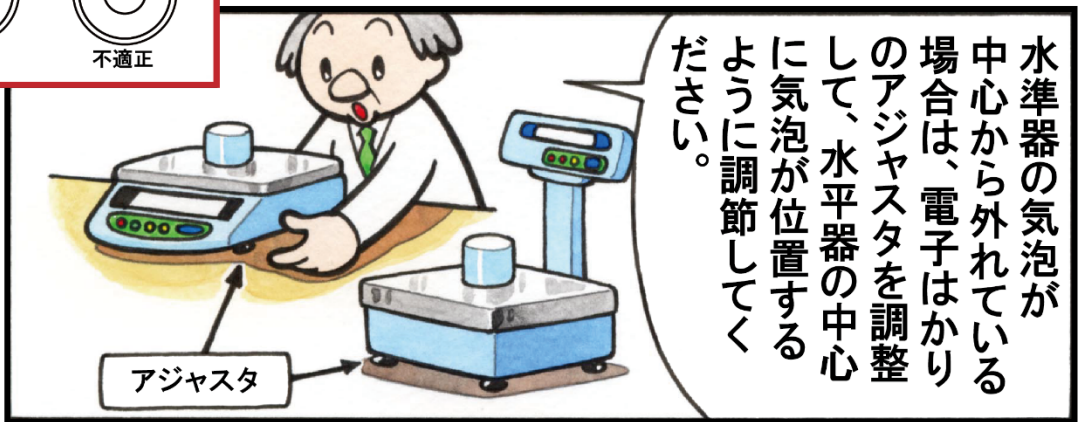
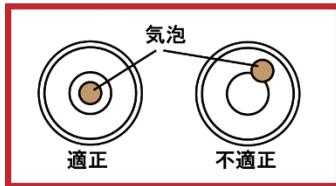
→ $\pm 1g$



日常点検の方法を設置状況の確認からご紹介します。

はかりは、水平状態で使用しないと正確に量れません。

水準器の気泡が中心から外れている場合は、アジャスタを調整して、水平器の中心に気泡が位置するように水平を調節してください。



適正

不適正



気泡が円の中心になっている。



気泡が円の中心から外れている。



また、はかりにガタツキがあると水平が狂ったり、重量表示が変動するので、アジャスタで、ガタツキが無いように調整します。

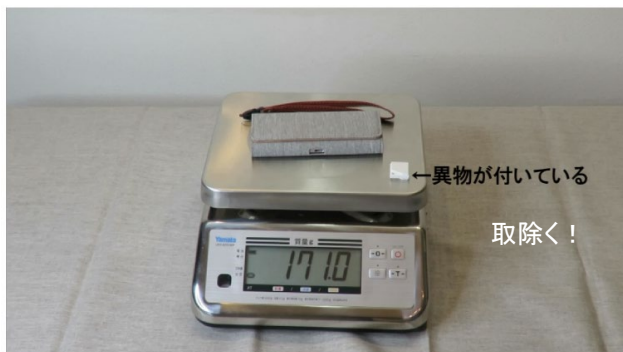


計量皿の汚れや、その周辺の異物の有無を確認します。
計量皿にゴミなどが付着していると付着物が作業中に外れ、誤差の原因となるので、事前に取り除きましょう。

汚れのふき取り



付着物の除去



また、計量皿に異物が触っていると、ただしく重量が表示されませんので、計量皿に触らないように離しましょう。

異物が触らないように！



ゼロ点の戻りを確認します。

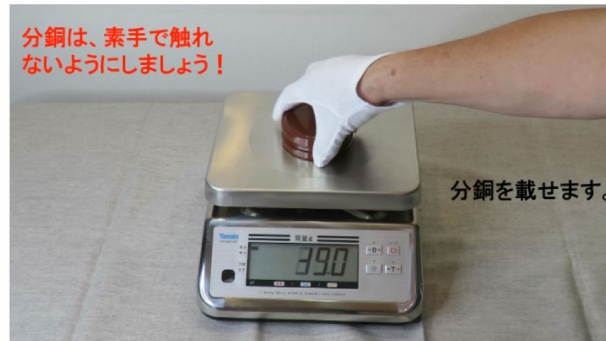
はかりの電源を入れた後、計量が安定するまで少し時間を置きます。

はかりの「ゼロセット」ボタンを押して、ゼロ点を設定後、分銅の載せ降ろしを数回行いゼロ点 (0.0g) への戻りを確認します。

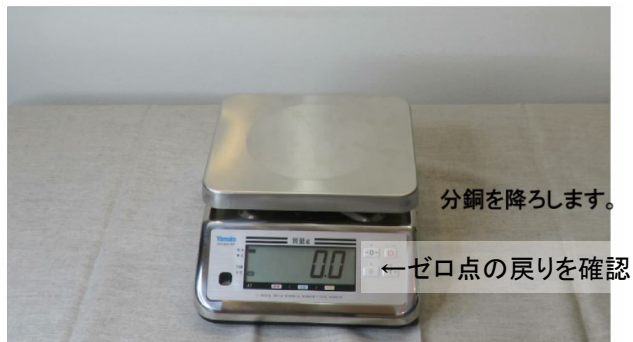
ゼロ点設定



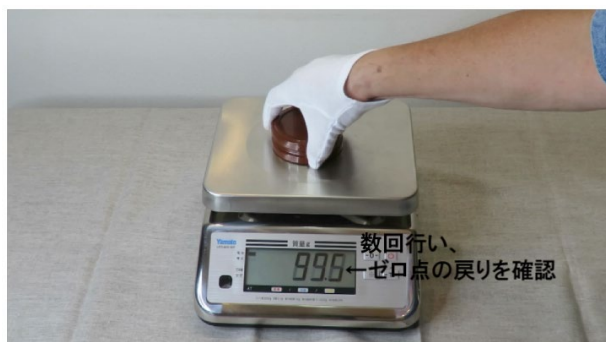
分銅を載せる



分銅を降ろす
→ゼロ点の戻りを
確認



数回繰り返す



測定物に近い重量の分銅を載せ、重量表示を確認します。

はじめに、200gの分銅を用意し、ゼロ点を確認後、分銅を載せ、重量表示が許容以内の200g±1g以内であることを確認します。

ゼロセット



普段計量している重量を200gと1kgにしました。



200g
円筒分銅



1kg
円盤分銅

200g分銅を載せる



許容以内か確認

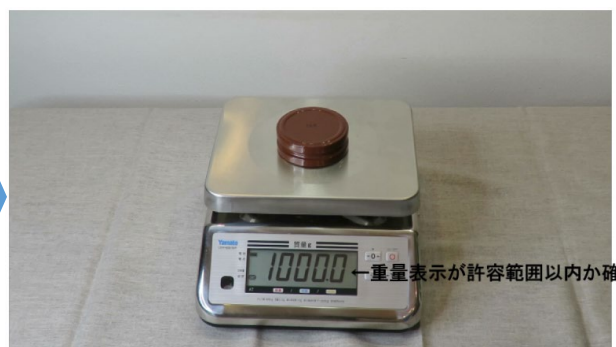


次に、1kgの分銅を用意し、ゼロ点を確認後、分銅を載せ、重量表示が許容範囲以内であることを確認します。

1kg分銅を載せる

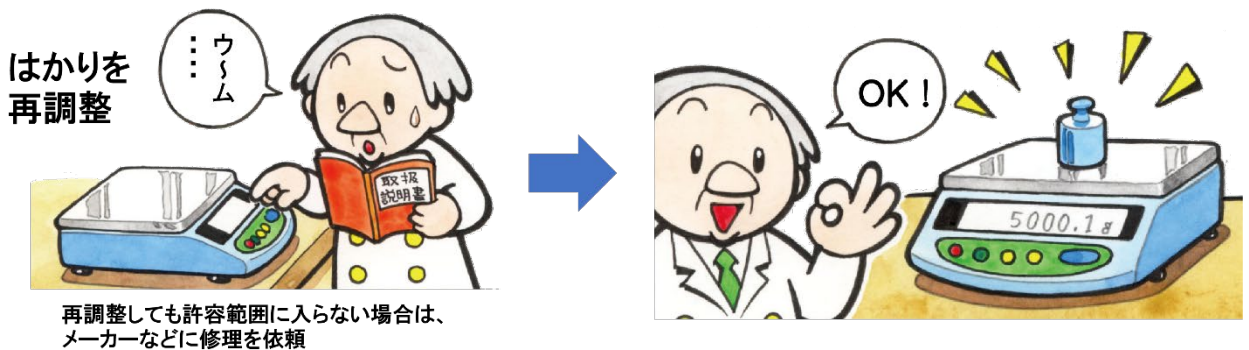


許容以内か確認



点検で、重量表示が許容範囲に入っていない場合は、取扱説明書に従って、はかりを再調整してください。

再調整しても許容範囲に入らない場合は、メーカーなどに依頼して、調整や修理を行ってください。



電子はかりの点検方法につきましては、「定期点検」「定期検査」も含めた、「まんが 電子はかりの点検方法」の冊子をご覧ください。

また、点検や検査で使用する分銅について、「まんが 分銅の選び方」の冊子もご用意しておりますので合せてご覧ください。



shopkinos.com はかり・分銅専門ショップ

最新のBluetooth付きはかりや活用システム、点検・検査に必須な分銅や関連製品など、shopkinos.comで取り扱っている商品やサービスを総合的に紹介しているサイトです。計量に関する最新情報が満載ですので、是非ご覧ください。

<https://shopkinos.com/>



Bluetooth付きはかり大集合

Bluetooth付きはかりについては、「Bluetooth付きはかり大集合」のサイトでご紹介しております。A&D製、新光電子製、大和製衡製のBluetooth付きはかりなど各種ご紹介しております。

<https://shopkinos.com/bt-hakari/>



Bluetooth付きはかり用アプリ

Bluetooth付きはかりを活用するアプリ(ツール)については、「Bluetooth付きはかり用アプリ」のサイトでご紹介しております。WindowsやAndroidのアプリを各種ご紹介しております。

<https://shopkinos.com/bt-appli/>



関連動画

・はかりの日常点検の方法とは？

<https://youtu.be/d6QwN7C0o0g>



・進化した重量データ記録ツール Tele Weight Scale G
- 極ver.4.1の紹介

<https://youtu.be/Fa1ixoC1zdM>



計量計測の新時代を開く

<https://digikinos.com/>



shopkinos.com はかり・分銅専門ショップ

最新のBluetooth付きはかりや活用システム、点検・検査に必須な分銅や関連製品など、shopkinos.comで取り扱っている商品やサービスを総合的に紹介しているサイトです。計量に関する最新情報が満載ですので、是非ご覧ください。

<https://shopkinos.com/>



本書の無断複写複製(コピー)及び内容の転載を禁止します。

2022/09

有限会社 デジタル工房Kinoss

194-0032 東京都町田市本町田1369-9

TEL: 042-810-5198

Email : info@digikinos.com